

1 社会・治安情勢

ザンビアの主要輸出品である銅の国際価格の下落傾向はあるものの、海外直接投資や非伝統的輸出製品の伸びを受けて、ザンビアのマクロ経済は引き続き好調に推移している。一方で、貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。また、都市への人口流入と当局の治安維持能力の低さがこれを助長している。これに加え、周辺国の紛争発生時に難民と共に流入した軍用の銃器が依然として多く出回っているため、犯罪の手口が凶悪化、組織化している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされている地域においても昼夜を問わず銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が頻発している状況であり、在留邦人がいつ被害に遭ってもおかしくない状況である。また、その地域を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、犯罪の温床となっている。さらには、若年層の新規雇用低迷、生活インフラ整備の不足等に対し、多くの人々が不満を抱えており、これが何らかのきっかけで抗議や暴動につながる可能性も排除されない。

(2) 邦人被害事案

当該事件の発生は認知していない。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 強盗

(ア) 住居侵入強盗

ルサカ市内において、10月28日夜間、ナイフと偽拳銃で武装した集団一味が中国人自宅に押し入り金品を要求し、高額現金、携帯電話及び運転免許証を奪い逃走する事件が発生した。なお、当館が認知しているだけで同様の住居侵入強盗は10月から12月までの間39件発生している。

(イ) 商店侵入強盗

ルサカ市内において、12月17日夜間、トヨタハイエースを運転するAK47ライフル及び拳銃で武装する10人の集団がマーケットの商店を襲撃し現金及び物品を奪い逃走する事件が発生した。なお、当館が認知しているだけで同様の商店侵入強盗は10月から12月までの間11件発生している。

(ウ) 車両強盗

ルサカ市内において、10月11日夜間、AK47ライフルで武装した4人組

の犯人がトヨタスパシオに乗るタンザニア国籍の男性を襲い車両を奪う事件が発生した。被害は車両の他、携帯電話、銀行カード、旅行書類及び高額現金であった。なお、当館が認知しているだけで同様の車両強盗は10月から12月までの間16件発生している。

イ 詐欺

ルサカ市内において、10月4日夕刻、高額現金を詐取される事件が発生した。なお、当館が認知しているだけで同様の詐取事件は10月から12月までの間5件発生している。

ウ 放火

ルサカ市内において、10月11日夜間、マーケットの商店が放火に遭い商品等が全焼する事件が発生した。

エ 強姦

キトウェ市内において、12月4日夜間、20歳の専業主婦が2人の男に教会に拉致され一晩中、暴行を受ける事件が発生した。このような強姦事件は多数報道されている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

ルサカ市内において、10月12日日中、住居に一人の男が玄関を鉄棒で破壊し押し入り住人に暴行を加えた上、8歳の男の子をさらい、逃走する事件が発生した。

5 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報なし。